

1. 化学品及び会社情報

製品名	: HISCL PG II キャリブレータ
構成試薬	: HISCL PG II キャリブレータ (HISCL PG II C0~C5)
会社名	: 株式会社カイロス
住所	: 東京都文京区本郷二丁目 38 番 18 号
担当部門	: 開発研究部
電話番号	: 03-3816-4115
FAX 番号	: 03-3816-4970
推奨用途及び使用上の制限	: 体外診断用医薬品

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	: GHS 分類基準に該当しない
GHS ラベル要素	: なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: 混合物
化学名	: アジ化ナトリウム
化学特性 (化学式)	: NaN_3
分子量	: 65.02
CAS No.	: 26628-22-8
官報公示整理番号	: 化審法 1-482
濃度	: 0.1%

4. 応急措置

吸引した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にする。必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、無理に吐かせないこと。
眼に入った場合	: 水で数分間、注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合	: 大量の水と石鹸で洗うこと。
衣類に付着した場合	: 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。 汚染された保護衣を再使用する場合は洗濯すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 引火及び燃焼の恐れはない。
使ってはならない消火剤	: なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 直接皮膚に接触しないようにする。
環境に対する注意事項	: 情報なし
封じ込め及び浄化の方法	: 少量の場合は拭き取る。大量に漏出した場合は、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的施策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 眼、皮膚及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。 取扱い後はよく手洗いをを行うこと。 容器に大きな衝撃、落下、転倒等を与えることや引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。
局所排気・全体換気	: なし
注意事項	: みだりにエアロゾルが発生しないように取扱う。
安全取扱い注意事項	: アジ化ナトリウムは鉛、銅等と反応して爆発性の高い化合物を発生するおそれがあるので、取扱いに注意する。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避け、2~8℃で保存する。
安全な容器包装材料	: なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: なし
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 設定されていない
保護具	: 白衣、保護手袋、必要に応じて保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観（色／形状）	: 無色～淡白色／液体
臭い	: ほとんどない
pH	: 中性
融点・凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 不燃性
発火点	: 不燃性
密度	: データなし
溶解度	: 水に易溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	: アジ化ナトリウムは鉛、銅等と反応して爆発性の高い化合物を発生するおそれがある。
避けるべき条件	: 重金属との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	: なし

11. 有害性情報

製品として既知の危険有害性情報はない。
含有している成分で以下の情報が報告されている。

アジ化ナトリウム（98%以上）

急性毒性（経口）	: ラット；LD ₅₀ 45 mg/kg、マウス；LD ₅₀ 27～45 mg/kg
急性毒性（経皮）	: ウサギ；LD ₅₀ 20 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ；4hr で腐食性の報告あり
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 皮膚腐食性・刺激性より推測される
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 呼吸器・消化器等に対する影響の知見あり
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 動物実験で肝臓に対する影響の知見あり

12. 環境影響情報

製品として既知の環境影響情報はない。
環境への影響を考慮して廃棄には十分注意すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 大量の水で洗い流す。 水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に従って処理する。
汚染容器・包装	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則	: 輸送規制上、危険とは分類されていない。
UN No.	: なし
Class	: なし
Proper Shipping Name	: なし
Packing Group	: なし
国内規則	: 輸送規制上、危険とは分類されていない。
輸送上特定の安全対策及び条件	: 直射日光を避け、2～8℃で輸送する。 転倒、落下、横倒しを避け、荷崩れの防止を行う。

15. 適用法令

医薬品医療機器等法	: 該当	体外診断用医薬品
化審法	: 非該当	
毒物及び劇物取締法	: 非該当	
労働安全衛生法	: 非該当	
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当	
消防法	: 非該当	
船舶安全法	: 非該当	
航空法	: 非該当	
水質汚濁防止法	: 非該当	

16. その他

参考文献 : ラベル及び表示・安全データシート作成指針 : (社) 日本化学工業協会
安全衛生情報センター : <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

上記の記載内容は、現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しておりますが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いには十分注意してください。含有量、物理、化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、保証をするものではありません。また、注意事項は通常の実施を対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用法・用途に応じた安全対策を実施してください。

なお、ここに記載した情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成したのですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂される場合があります。